

取引先の若手 経営者ら交流

大垣西濃信金と城南信金

大垣西濃信用金庫と城南信用金庫の取引先の若手経営者らによる交流会が4日、東京都品川区の城南信金であり、参加者が地域ビジネスの発展に向けて意見交換した。

大垣西濃信金の取引先の経営者ら約80人による都内視察に合わせて開いた。両信金は、ビジネスマッチング支援などに関する業務提



携を結んでおり、次代を担う若手経営者同士のつながりをつくり、地域や企業の活性化につなげてもらおうと企画した。城南信金側からは約30人が参加した。

交流会で大垣西濃信金の栗田順公理事長は、中小企業の販路拡大や新規事業展開を支援するために全国の信金が連携して設立した「よい仕事おこしネットワーク」を紹介し「地域の中で埋もれているような商品やサービス、技術力をもっと全国に広めていきたい」とあいさつした。写真。城南信金の川本恭治理事長は同信金の取り組みなどを話した。歌手つのだ☆ひろさんのステージがあり、講演や歌で会場を盛り上げた。大垣西濃信金側の経営者らは5日、東京都立産業技術研究センターなどを見学した。